

◆ 2016年 第31週(8/1~8/7)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核 (高松 1件、東讃 1件)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 (中讃 1件)
- 4類感染症 レジオネラ症 (中讃 1件)
- 5類感染症 風しん (高松 1件)、侵襲性肺炎球菌感染症(中讃 1件)

蚊に刺されないように

気をつけましょう!!

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど、肌の露出をできるだけ避けましょう



■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたり的人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス、細菌)に気をつけましょう。
調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。
- ヘルパンギーナ、手足口病や咽頭結膜熱等、夏の感染症に気をつけましょう。
手洗いやうがい、十分な水分と栄養の補給を心がけましょう。また、タオルの共有は避けましょう。



2016年第31週の感染症発生動向調査による報告患者総数は362人で、前週(408人)の88.7%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(5.0→3.9)で減少し、県内すべての地区で減少した。
2. 流行性耳下腺炎の報告は、県全体(1.8→2.0)で増加している。西讃地区(3.3→6.0)では警報レベル(6.0)に達した。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(1.9→1.8)で横ばいで推移している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	3.9人	5.0人	77.9%	4.3人	2.8人	○↘	○↘	○↘	○↘	○↘	○↘
② 流行性耳下腺炎	2.0人	1.8人	107.8%	1.4人	0.6人	○↗	○↗	○↗	・↘	○↘	◎↗
③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.8人	1.9人	90.7%	1.7人	0.6人	○→	△↘	○↗	△→	○↘	○↗
④ ヘルパンギーナ	1.5人	2.1人	74.1%	3.1人	2.2人	○↘	○→	○↗	△↘	○↘	○↘
⑤ 感染性胃腸炎(細菌)	0.7人	0.5人	133.3%	0.6人	0.5人	△↗	○↗	・・	△↗	△↗	△↘

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	咽頭	2016/8/2	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
Adenovirus 3	咽頭	2016/7/11	高松市	咽頭結膜熱	遺伝子検査	1	
Coxsackievirus A4	咽頭	2016/7/4	高松市	ヘルパンギーナ	遺伝子検査	1	
Coxsackievirus A4	咽頭	2016/7/7	東讃	ヘルパンギーナ	遺伝子検査	1	
Coxsackievirus A4	咽頭	2016/7/20	東讃	ヘルパンギーナ	遺伝子検査	1	
Coxsackievirus B5	咽頭	2016/7/4	中讃	無菌性髄膜炎	遺伝子検査	1	※1
Coxsackievirus B5	糞便	2016/7/6	中讃	髄膜炎	遺伝子検査	1	※1
Coxsackievirus B5	咽頭	2016/7/21	中讃	不明熱	遺伝子検査	1	
Echovirus 6	咽頭	2016/7/23	中讃	不明熱	遺伝子検査	1	
Echovirus 6	髄液	2016/7/23	東讃	無菌性髄膜炎	遺伝子検査	1	
Echovirus 6	髄液	2016/7/25	高松市	髄膜炎	遺伝子検査	1	
Influenza virus AH1pdm09	咽頭	2016/7/27	中讃	インフルエンザA型	遺伝子検査	1	
Parainfluenza virus 3	咽頭	2016/7/27	西讃	不明熱	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	咽頭	2016/7/25	東讃	上気道炎	遺伝子検査	1	※2
Parechovirus3	髄液	2016/7/25	東讃	無菌性髄膜炎	遺伝子検査	1	※2
Parechovirus3	咽頭	2016/7/25	中讃	脳炎	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	咽頭	2016/7/26	東讃	上気道炎	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	糞便	2016/7/29	中讃	脳炎	遺伝子検査	1	

※1 同一患者 ※2 同一患者

地区別報告状況

Table with columns for Disease Name, Week, and sub-regions (高松市, 小豆, 東讃, 中讃, 西讃). Rows include various infectious diseases like RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱, etc.

※ 地区別定点数の内訳

Summary table showing the number of reporting points for each sub-region (高松市, 小豆, 東讃, 中讃, 西讃) across different categories like 小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹.

各地区の流行状況

- 流行警報地区 (Red box)
流行注意地区 (Yellow box)

小豆地区の小児科定点が第10週より2定点→1定点に変更されました。
インフルエンザ定点が第10週より3定点→2定点に変更されました。

年齢別報告状況(人数)

Large table showing age-specific reporting status (人数) for various diseases across age groups from -5 months to 80+ years.